

平成27年度事業報告

平成27年度の乗合バス事業は、穏やかに景気回復のきざしはあるものの、輸送需要は低迷状況であり、今後一層の少子高齢化に向け、利用者の利便性の向上を重点としたバス利用促進に努めた。特に、中四国の交通拠点となる岡山駅のバス停について、岡山市や商工会議所等の協力を得て、バス停の再編など環境整備を積極的に推進し、利便性の向上に努めた。

貸切バス事業は、新運賃制度の適用等により輸送人員の減少がみられるが、収入については、運賃の適正収受が浸透し、大きな影響は及ぼさなかった。協会として、新公示運賃料金収受の定着を図るべく、行政に対する要請や、新運賃制度についての問題点等の意見交換を旅行業者を含めて開催するなど、業界を挙げて運賃の適正化に努めた。

そうしたなか、本年1月15日、貸切バスが、長野県軽井沢町の国道18号線において、バス運転者2名を含む15名が死亡し、26名が重軽傷を負うという重大な事故が発生しました。その後において、国交省や労働省によるバス事業者への監査等で多数の法令違反が出るなど、改めて安全対策及び事故防止対策の必要性が問われた。

当協会は、バス事業の根幹である安全・安心について、乗合バスにおいては、車内事故防止の推進などを重点として取組み、貸切バスは、適正化コンサルティング事業による巡回指導、貸切バス安全評価認定制度の推進などによるコンプライアンスの向上を図ると共に、ドライバー運転実務研修など乗務員教育の充実も図るよう取組み、事故防止を積極的に推進していくことで社会的信頼の回復に努めた。

イベント関係では、特に、第1回目となる「おかやまマラソン」について、交通規制によるバス運行対策、マラソンランナー、関係役員等輸送対策に積極的に協力を行い、大きな盛り上がりの中で開催でき、成功裏に終わり今後の運営にも重要な役割を果たすこととされた。

当協会はこの状況の下、平成27年度事業計画に基づき、安全と安定したバス事業が地域公共交通の重要な役割を果たし、地域の方々の期待に応えられるよう連携して利用者の理解を深めるよう次のよう取り組んだ。

なお、27年5月、岡山運輸支局が岡山市北区富吉に移転に際し、当協会も会員各位のご支援ご協力をいただき日常業務に影響を及ぼすことなく移転することができた。

1. 年度会員数・その他(H. 28年4月1日現在)

①会員数

普通会員 87 (期間中増減 増2、減2)

②車両数

一般乗合 718両 (期間中 5両減)

一般貸切 770両 (期間中 増減なし)

2. 主な会議

- ①通常会員総会 1回
- ②理事会(役員会) 9回(理事懇談会1回含む)
- ③監事会 1回
- ④運営委員会 2回
- ⑤補助金運用委員会 1回
- ⑥貸切委員会 2回
- ⑦事故防止対策委員会 4回
- ⑧岡山市中心市街地の公共交通検討委員会 3回
- ⑨岡山駅西口バスターミナル運用協議会 3回
- ⑩岡山駅西口バスセンター運営委員会 4回
- ⑪岡山駅東口バス停再編成実行委員会 2回
- ⑫ICカード検討部会 1回
- ⑬要素別原価報告書集計(県・山陽) 2回
- ⑭中国バス協会事故防止対策委員会総会(岡山開催)
- ⑮一般貸切新運賃・料金制度にかかる意見交換会

2の1 第40回通常会員総会

平成27年6月24日(水) 岡山プラザホテル

【議事】

- (1) 平成26年度事業報告及び平成26年度収支決算の承認について
- (2) 平成27年度事業計画案及び平成27年度収支予算について
- (3) 定款変更について
- (4) 役員を選任・改選及び会長候補者の選定について
- (5) その他

2の2 理事会(役員会)

平成27年5月28日(木) 岡山プラザホテル

【議事】

- (1) 総会に付議する議案について
- (2) 定時総会の開催について

(3) 職員の給与について

(4) その他

2の3 理事会（役員会）

平成27年6月24日（水）岡山プラザホテル

【議事】

(1) 会長理事・副会長理事・専務理事の選任について

(2) その他

2の4 理事会（役員会）

平成27年7月27日（月）㈱自動車会館2F会議室

【議事】

(1) 岡山県バス協会の専務理事と事務局の体制について

(2) その他

2の5 理事懇談会

平成27年9月1日（火）両備HD会議室

【議事】

(1) 新執行体制について

(2) 本年度事業の懸案事項について

(3) その他

2の6 理事会（役員会）

平成27年11月6日（金）岡山プラザホテル

【議事】

(1) 平成27年度上期事業報告及び下期事業について

(2) 諸規程等の整備

(3) 黒川前専務理事の退職慰労金の支給について

(4) 新規事業者の入会の承認について

(5) その他

2の7 理事会（役員会）

平成27年11月25日（水）岡山プラザホテル

【議事】

(1) 岡山駅東口へ電車を乗入れる件に関する岡山県バス協会から岡山市長に宛てた要望書の提出について

(2) 岡山駅電車乗り入れに於ける岡山駅乗入れ各社のバスの運行支障の予想される実態把握の件

(3) 理事の不穏当な発言の件

2の8 理事会（役員会）

平成27年12月18日（水）岡山プラザホテル

【議 事】

- (1) 岡山市より岡山駅電車乗入れの件の説明
- (2) 前回臨時理事会での 2 件の会長諮問事項の報告
- (3) 前回臨時理事会の継続案件について

2の9 理事会（役員会）

平成 28 年 2 月 24 日（水）岡山プラザホテル

【議 事】

- (1) 岡山駅東口への電車乗り入れに関する要望について
- (2) 路線別運賃制度新設の要望書の提出について
- (3) 日本バス協会理事会報告

2の10 理事会（役員会）

平成 28 年 3 月 25 日（金）岡山プラザホテル

【議 事】

- (1) 平成 28 年度事業計画承認の件
- (2) 平成 28 年度収支予算承認の件
- (3) 平成 28 年度資金調達及び設備投資の見込みの件
- (4) 新規入会承認の件
- (5) 新年度理事会・定時総会の開催について

2の11 監事会

平成 27 年 5 月 26 日（火）岡山県バス協会

【監査内容】

平成 26 年度業務の執行状況、事業報告及び附属明細書、会計帳簿、計算書類及び附属明細書並びに財産目録の監査

3. 業務の概要

(1) 交通事故防止と安全輸送体制の確立

国の定めた「事業用自動車安全プラン 2009」に基づき策定した「バス事業における総合安全プラン 2009」を基に、主に各種以下の事業を実施した。

ア. 春、秋の交通安全運動及び年末年始の輸送に関する安全総点検において、事故防止対策委員会を中心に、安全運行、事故防止等を中国運輸局岡山運輸支局、岡山県警察本部の指導と協力を得て、会員に周知・徹底するとともに、交通安全活動に参画し広く交通安全を働きかけた。

- ・交通安全のポスターの配付 1, 200 枚（交付金事業）
- ・交通安全ポケットティッシュの配付 15, 400 個（交付金事業）
- ・安全運転手帳（2016 年安全運転のしおり）2, 600 冊（交付金事業）

イ. バス事故の 3 割を占める車内事故防止のための「車内事故防止キャンペーン」を 7 月に実施し、利用者への「ゆとり乗降」の啓発や運転者に対する「ゆとり運転」を呼びかけ、ポスター、チラシ等により啓発活動を行った。

・依頼先：岡山県トラック協会、岡山県タクシー協会、JAF 岡山支部
さらに、車内事故防止の啓発シール（車内床面貼付用）を中国バス協会において追加作成し、2 月に床面シール貼付を実施した。

- ・車内事故防止床面シール 150 枚（交付金事業）
- ・車内事故防ポスター 1,430 枚（交付金事業）

ウ. 運行管理者、運転者研修事業

運行管理の適切な実施、運転者の事故防止等を図るための各種研修や安全運転に関する周知等に次のような助成を行い事故防止に努めた。

- ・運輸安全マネジメント研修 17 名（交付金事業）
- ・運行管理者一般講習 357 名（交付金事業）
- ・運行管理者基礎講習 70 名（交付金事業）
- ・運行管理者資格試験講習 2 回（交付金事業）
- ・運行管理者ハンドブック 152 冊（交付金事業）
- ・安全運転手帳 2,600 冊（交付金事業；再掲）
- ・バスドライバー研修 35 名（一般・交付金事業）
- ・運転者適性診断 788 名（交付金事業）
- ・運転記録証明交付 1,412 名（交付金事業）
- ・SAS 簡易検査助成 98 名（交付金事業）
- ・SAS 対策 Q&A 150 冊（交付金事業）

エ. 交通安全意識（飲酒運転撲滅、シートベルトの着用等）の高揚を図るべく、県下バス事業者で引き続きラッピングバスの運行を行い、啓蒙に努めた。

オ. 安全教育、車内、車外事故防止の対策として、EMS・ドライブレコーダーの導入促進を行った。

- ・EMS・ドライブレコーダー導入助成 159 両（交付金事業）

カ. バスジャック・テロ等危機管理体制の構築

平成 28 年 5 月に開催される「伊勢・志摩サミット」等国際会議の開催に備え、岡山県警察本部、中国運輸局及び岡山運輸支局等関係機関と、交通事業者による「公共機関等テロ対先会議」において、バス事業者の対応を伝え、

テロの防止及び対策について、協力体制の強化を図った。

(2) 輸送環境改善事業、サービス改善事業

県内各所バス停の整備、利便性の向上を図り、更には岡山駅東西バスターミナルの整備等利用者へのサービスの向上に資するため、主に以下の事業を実施した。

ア. 岡山駅東口バス停について、5月28日「おかやま都市交通戦略連携会議」において、再編（方面別化）を行う旨決定され、7月28日「岡山駅バス停再編成実行委員会」を立ち上げ、10月1日同委員会において案が決定され、28年4月28日から実施することを決定した。また、路面電車の乗り入れの検討について、「理事会」及び「岡山市中心市街地の公共交通に関する検討委員会」で数回に亘る協議の上、岡山市長及岡山市議会議長に要請を行った。

イ. 岡山駅西口バスターミナルについて、高速バス、空港リムジンバス、岡山市北西方面路線バス及び貸切観光バスの乗降について、安全対策及び利用者サービスの向上を図るため、バス停及び待合所の適正な管理を行い、高速バス、空港リムジンバスのガイドのパンフレット（16000枚）を刷新し、利用者の利用促進に努めた。

ウ. 岡山市におけるバス利用の利便性向上と利用促進を図るため、岡山市、岡山商工会議所とバス協会及び市内乗合バス事業者による「バス利用促進検討会」での行動計画に基づき、次のような事業を実施した。

《実施事業》

- ・公共交通のあり方等を学んでいただき、また意見を聞くため、おかやま交通探検隊」へ参画した。（岡山商工会議所、岡山市と協賛）
- ・デジタルサイネージの管理運営「通称『えきバス時刻表』」（岡山市の設置）
岡山駅東西通路の新幹線改札口及び在来線中央改札口と駅東口バス案内所側面に岡山市が設置したデジタルサイネージについて、バス協会が管理運営した。
- ・岡山駅東口バス停の上屋の保守管理
- ・岡山駅西口バスターミナルのバス待機場の設置
平成26年12月のイオンモール岡山開業に伴う市内の交通渋滞に備えて、駅元町の市道高架下用地を利用したバス待機場を岡山市より借り受け、高速バス・空港リムジン・路線バス等の定時運行確保のため、バス待機場の整備を行った。

エ. バス停等整備

- ・岡山駅B Tサイン等変更 2箇所 (交付金事業)
- ・上屋改修・復旧 2箇所 (交付金事業)
- ・標柱整備 89箇所 (交付金事業)

オ. 輸送サービス事業

- ・バス利用促進として、バスの日やバス乗り方教室などの開催時において、利用促進用グッズの配付を行った。(交付金事業)
- ・貸切バス利用者へのサービスと事故防止、及び環境対策の啓蒙を図るため主に次の事業を行った。
紙コップ (シートベルト着用啓蒙) ゴミ袋 (環境整備対策) を利用者に配付。

(3) 環境対策

環境対応車両の導入促進を図るとともに、アイドリングストップやエコドライブの推進を図った。

- ・EMS・ドライブレコーダー導入助成 159両 (交付金事業；再掲)

(4) バリアフリー対策

低床バスの導入促進 8両 (日バス助成事業：再掲)

(5) 貸切バス事業の振興対策

輸送の安全を確保し、利用者利便の向上を図るため、次のような対策を講じた。

- ・関越自動車道の事故によって、「高速ツアーバス」の業態構造に起因した問題と、貸切バス事業者をめぐる構造問題が批判されたことにより、「バス事業のあり方検討会報告書」に基づき国から「高速・貸切バスの安全・安心回復プラン」が策定・実施され、安全性・信頼性の回復及び運賃・料金制度の改革・適正化に取り組み、貸切バスの信頼の回復を図ることとされているが、一部事業者や旅行業者について、運賃、所謂「中抜け」に相違があるため、「貸切新公示運賃・料金に化案する意見交換会」(貸切事業者55名、旅行業者25名参加)を開催し、新運賃制度の取扱いの統一に向け理解を求めた。
- ・28年1月15日、長野県軽井沢町において、貸切バスの悲惨な事故が発生し、(死者15名、重軽傷6名)改めて貸切バス事業者の安全管理体制が問われ、特に、労働時間、健康診断、運行指示などを重点的に指導を行い、安全対策の意識の向上に努めた。
- ・巡回指導「貸切バス適正化事業」(コンサルティング)により業界全体のコン

プライアンスの向上と、法規定事項の周知を図るべく巡回指導を行った。(20事業者)

- ・日本バス協会が行う「貸切バス事業者評価認定」について、安全対策に関する説明会を開催し、申請のあった県内14事業者について訪問審査を行った。
- ・貸切バスの岡山駅周辺の乗降として西口バスターミナル及び駐車場対策として、臨時借上げの駅元町市道高架下バス待機場の利用と共に、引き続いて円滑な運営をおこなった。

(6) 運輸振興助成交付金の適切な運用

総会、役員会の決定に基づき補助金運用委員会で協議し、岡山県知事の認可を得て次の事業を実施した。

| 事業の名称 | 事業金額 |
|------------|-------------|
| バス停留所整備事業 | 5,553,320円 |
| 輸送サービス改善事業 | 6,470,508円 |
| 安全運行対策事業 | 12,436,855円 |
| 維持運行管理事業 | 1,062,728円 |
| 合計 | 25,523,411円 |

(7) 日本バス協会運輸事業助成事業の実施

日本バス協会の「バス輸送事業改善推進事業」の助成制度を次のとおり活用した。

| 事業内容 | 数量 | 金額 | 備考 |
|-----------------|-----|------------|---------------|
| 人と環境にやさしいバス普及事業 | 8両 | 600,000円 | 低床スロープ |
| 〃 | 18両 | 2,034,000円 | 衝突被害軽減ブレーキ装備車 |
| 地方路線バス助成事業 | 5両 | 230,000円 | 車両購入 |
| 貸切バス助成事業 | 1両 | 46,000円 | 車両購入 |
| 合計 | | 2,910,000円 | |

(8) 陳情・要望等について

バス輸送の振興、安全性の確保、環境対策、バリアフリー対策を円滑に遂行するため、バス関係諸制度の見直しや予算及び税制などに関し関係機関に次のような要望を行った。

ア.「陳情書」

平成27年11月4日、自由民主党岡山県支部連合会 岡山県議団あて

平成 28 年度岡山県予算編成に関する個別懇談会において、次の事項を重点的に要望した。

- ・地域公共交通ネットワークの維持、再編の取組みについて、積極的に取り組むよう指導助言を依頼
- ・地域公共交通確保維持改善事業に係る予算の増額及び補助制度の見直し
- ・「地域振興特定路線維持対策費」の拡充
- ・「運輸事業振興助成交付金制度」の継続
- ・自動車関係諸税について、大幅な負担減・簡素化
- ・消費税増税に当たっては、軽減税率の適用などの配慮

イ. 「要望書」

平成 27 年 11 月 16 日、民主党岡山県総支部連合会代表あて
民主党岡山県連所属県会議員との意見交換会において、次の事項を重点的に要望した。

- ・地域公共交通ネットワークの維持、再編の取組みについて、積極的に取り組むよう指導助言を依頼
- ・地域公共交通確保維持改善事業に係る予算の増額及び補助制度の見直し
- ・「地域振興特定路線維持対策費」の拡充
- ・「運輸事業振興助成交付金制度」の継続
- ・自動車関係諸税について、大幅な負担減・簡素化
- ・消費税増税に当たっては、軽減税率の適用などの配慮

ウ. 「自転車の交通マナー指導等について（要請）」

平成 28 年 1 月 7 日、岡山県警察本部交通部長及び岡山市長に、自転車との事故防止の為、自転車の交通マナーの指導を強化し、自転車の反射材の大型化を要望。

エ. 「要望書」「陳情書」

平成 28 年 3 月 2 日、岡山市長及び岡山市議会議長に、路面電車の岡山駅東口広場への乗り入れに関し、乗り入れ計画の実証実験の実施及び岡山駅東口行内全体の見直しと施設の拡充について要望及び陳情した。

オ. 「要望書」

平成 28 年 3 月 28 日、国土交通省中国運輸局長に、乗合バス事業に路線別運賃制度の新設を要望。併せて、中国バス協会長に、同制度について、日本バス協会を通じ、国土交通省に要望を依頼。

(9) その他

- ア. バス協会事務所の移転（27 年 5 月 7 日）
- イ. 乗合バス車内ポスター掲示、営業所へのポスター掲示・チラシ配付等による行政からの、啓蒙・広報等の協力

- ・ 県議会議員選挙及び市議会議員選挙啓蒙
 - ・ 特殊詐欺の未然防止チラシ、防止に関する車内ポスター
 - ・ 「鍵かけ！声掛け！」運動
 - ・ 「いじめ防止啓発」
 - ・ 危険ドラッグ防止条例の啓発
 - ・ 「ももくん安心メール」の広報
 - ・ 「交通安全啓発ポスター」
 - ・ 伊勢志摩サミット等警備広報
- ウ. 第1回おかやまマラソン実行協力
- エ. バス関係法令・通達等の周知
- オ. 各種会議・イベントへの参加
- カ. 統計資料等の作製配布
- キ. 日本バス協会、中国バス協会事業の推進及び協力

事業報告の附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。